

第7回 九州医学哲学・倫理学会 学術大会報告

2016年9月3日(土) 11:00-17:00

場 所：熊本大学 くすの木会館レセプションルーム

大会テーマ

「医療と人間の行く末」

開会式：11:00-11:05

演題発表(1)：11:10-11:40

「介護の基底としての「想像力」-高次脳機能障害者の手記を通して-

中野桂子(福岡大学大学院 人文科学研究科教育・臨床心理専攻)

座長：山梨八重子(熊本大学)

演題発表(2)：11:45-12:15

「電子タバコの倫理」

藤井 可(熊本市役所 総務局 労務厚生課 医師)

座長：永嶋哲也(福岡歯科大学)

昼食：12:15-13:00

総会：13:00-13:30

<特別講演>：13:35-14:35

「ヒト-動物キメラ研究と倫理学への挑戦」

高橋隆雄(熊本大学名誉教授・熊本大学院先端機構客員教授)

演題発表(3)：14:40-15:10

「ヒト受精胚のゲノム編集をめぐる倫理的アプローチの在り方」

佐藤岳詩(熊本大学 大学院社会文化科学研究科)

座長：板井孝壱郎(宮崎大学)

演題発表(4)：15:15-15:45

「急性期リハビリテーションの実践における倫理的課題-作業療法士の独自性に着眼して-

山野克明（熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科）

座長：日下部修（福岡医健専門学校）

演題発表(5)：15:50-16:20

「病の文学を読む：ハンセン病文学、病むことの意味づけ」

前田義郎（産業医科大学 医学部 哲学概論）

座長：新名隆志（鹿児島大学）

演題発表(6)：16:25-16:55

「タイ生殖医療（代理出産）の法規制と外国人生殖医療難民の行方」

児玉正幸（鹿屋体育大学 名誉教授）

座長：永田まなみ（熊本大学）